



写真上：西明寺山門(重文)

写真右下：西明寺境内にある笑い閻魔(なぜ笑うかはホームページ参照)

写真左下：西明寺本堂内(厨子は国重文)



ようにしました。実際に来てくれた宗教者は多くはありませんでした。しかし何度か仏教僧侶が来られて、看清坊がNHKで紹介されたときには、僧侶が入所者のところに訪問している場面も放映されました。日曜日には教会に通っていたというキリスト教の信者が遠方から入所されたとき、本人の希望で近くのキリスト協会に連絡して牧師さんに来てもらったこともありました。

現在も入所面接時には同じ質問紙を用いて菩提寺への連絡の可否を聞いていますが、菩提寺へ連絡することには消極的になつてしまつています。現在長期間活動を停止した状態の益子町仏教会に働きかけて、再度連携のお願いをする必要があると思つています。現在改築予定の寺の建物が完成した落成式がそのチャンスと考えています。

医療の現場を学ぶ

飯島〇臓器移植法案改正についての記事を拝読した中では「菩提寺の住職は死にゆく苦の現場に行くべきです。積極的に倫理委員会の委員にもなつて責任の一端を担いましょう」と書いておられました。これは私たち仏教者にとつての喫緊の課題であると考えます。これを実現させるためには、仏教者として「苦しみ」の現場について勉強することも必要であると考えますが、地域の仏教者(お寺の住職さま等)を対象とした勉強会などを開催しておられるのでしょうか?

田中〇医療の現場について僧侶は勉強する必要があると思いません。私自身が地域で勉強会を開くことは行っていません。私は大正大学の非常勤講師として、平成3年から学生に医療と仏教の講義をしています。

数年前、学長にスピリチュアルケア・ワーカーを育てる講座を作る提案をして、その実現の方向に動きかけたのですが未だ実現していません。高野山大学にはスピリチュアルケア学科ができて、大学が主催する「21世紀高野山医療フォーラム」では私も以前話をさせて頂きました。

カトリックでは、大学で6年間宗教と哲学を学んで神父の資格を得た後に、2年間医療に関して学んでスピリチュアルケア・ワーカーの資格を取得します。さらにパチカンでは毎年世界中からカトリック医療従事者が集まつて3日間の勉強会を開いています。全日本仏教会の推薦で私もそこに招待されて仏教の立場を発表しました。スピリチュアルケア・ワーカーを育てる講座を全日本仏教会でつくられたらよいと考えています。

西明寺と医療法人普門院診療所

西明寺は獨坐山普門院西明寺と称し、真言宗豊山派に属する。天平年間に行基菩薩を開山、紀有麻呂を開基に創建されたと伝えられ、延暦元年には一山12坊を数えた。楼門、三重塔、本堂内厨子が国指定の重要文化財。坂東巡礼第20番、下野第13番の札所。

西有寺境内に建つ医療法人普

門院診療所は入院19床、診療科として内科・麻酔科・泌尿器科・整形外科・リハビリテーション科を有し、緩和ケアも実施する。また、介護老人保健施設「看清坊」、認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)『能羅坊』、居宅介護支援事業所『金蓮坊』、通所介護事業所『中善坊』を運営している。

〒321-1421
栃木県芳賀郡益子町益子4409
<http://funon.jp/index.htm>

両大本山御用達
梅花流法具販売指定店
法衣・装束・荘厳・神仏具・贈答用記念品

株式会社 梅金商店

(全国曹洞宗法衣同業会会員)

〈本社〉〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目39番33号
(大須交差点東北側)
TEL (052) 241-0901(代表) FAX (052) 241-1904